

MARCH

18



## 主催事業 マンスリー ファミリーネイチャーゲームのご報告

参加家族：2組（4名）、職員1名、岡山県シェアリングネイチャー協会 勝間さん（かっちゃん）  
崎川さん（あっこちゃん）

### 【活動報告】

今年度最後のネイチャーゲームは、雨上がりの香りがする中でスタートしました。今回も、五感を使ってこれからどんな事をするのか、参加者の方々はみんなワクワクです。

最初は、動物絵合わせパズル。何の動物かを当てるゲームです。動物の体の一部の絵（ゴツゴツした皮膚、毛の生えた長いっぽなど）を見てなんの生き物か考えます。親子で楽しく動物の特徴を知りながらパズルを完成させました。

次に生き物が隠れている絵本を見て、どこにいるのか探します。子供たちは大人がびっくりする速さで「あ！ここにいる！」と見つけていました。その後、その野生の鋭い目ようになった感覚のまま外へ出て、絵本のように自然の中にかくれんぼしているもの（木の茂みに隠してあるカラーピンチ）を見つけるゲームをしましたチームに分かれて、よいスタート！「あった！あった！」と次々見つけましたが、最後までなかなか見つからないのは...黒色！「自然の中では、黒色や緑色だと見つかりにくい。生き物の色もそう。逆に、黄色やピンクなどは、花の色によくあって、虫たちに『ここに花がありますよ。』と見つけやすくしているんだよ。」







また、赤色のように目立つ色をしている虫は、“毒があるよ！”と伝えているんだよ。」と言うかっちゃんの話に、みんなで、なるほど！と感心しました。

次に、あっこちゃんが自然と人を繋いでくれるものは、『うさぎのワンピース』。紙に描いたうさぎのワンピースの部分を作り抜き、それをかざして、自然の中のいろんな模様を楽しみます。植物の模様、空の模様、素敵なワンピースの柄をワイワイみんなでシェアしあいました。そして、森の広場まで進んでいくとカクレミノの木があり、その葉っぱは、グー・チョキ・パーの3種類あります。1人につき3枚の葉っぱをカクレミノさんにもらって、葉っぱジャンケン大会をしました。

楽しい時間はあっという間に過ぎ、『もうすぐはるのフィールドビンゴ』をしながらシンボルツリーのクスノキまで戻りました。雨上がりなのでビンゴの中の“あたたかいもの”がなかなか見つかりませんでした。が、「石を触って冷たいのを感じてから、このクスノキの幹を触ってみて」と、かっちゃん。みんなでその大きな幹に手のひらを当てて感じてみると...

「あ！あったかい！！」と驚きの声が上がりました。3月のネイチャーゲームは、みんなで春のように和やかな、笑顔いっぱい時間を過ごしました。

令和4年度のマンスリー：ファミリーネイチャーゲームにご参加いただきましてありがとうございました。毎月、その季節に合わせた自然との向き合い方や、自然からのメッセージを感じられる活動でした。これらを指導してくださったのは、岡山県シェアリングネイチャー協会の指導者のみなさんです。

さて、4月からファミリーネイチャーゲームを実施します。そこでまたみなさんにお会いしたいと思います。ぜひご参加ください！

